

PEDAGOGY WORKSHOP ABSTRACT

SUNDAY, FEBRUARY 5, 2017

9:00-10:30 AM

語用論で「誤用」を理解し説明しよう！

Let's understand and explain "errors" from pragmatics point of view!

Dr. Mutsuko Endo Hudson (Michigan State University)

このワークショップでは、前日の「基調講演」の話題を基に日本語学習者のプラグマティクス上の「誤用」を検討しましょう。まず、「誤用」の2-3例について、原因は何なのか、どう説明すれば学習者に分かりやすいのか全体で考えます。その際、学習者の母国語、レベルなども考慮します。その後、小グループに分かれ、他の例について話し合ってください。そして、話し合いの結果を全体に発表し、理解を深めましょう。こちらで会話文（話し言葉）および作文（書き言葉）の「誤用」例を幾つか用意しますが、参加者の方々にもお持ち寄りいただけたら助かります。特に、どう説明したら良いのか分からないような手強い「誤用」例などがありましたら、ぜひお願いします。

このワークショップに参加することが、少しでも、学習者の「誤用」の背景を理解し、簡潔明瞭な説明への一助となりましたら幸いです。